



第7号

平成28年11月16日
六ツ美中部小学校

岡崎市制100周年記念 学芸会 (10月29日)



思いが伝わった学芸会

教務主任 大山 和久

「うっっ、しまった。」

各学級・学年の演技を確認して助言するために、学芸会の前
に下見の会を行いました。本番
一週間前、体育館練習が始まっ
てまだ一週間ほどしか経ってい
ない頃です。それなのに、子供
たちの思いがピンピンに響いて
くるのです。目が熱くなり、ハ
ンカチを用意していなかったこ
とを後悔しました。

今年の学芸会は、校長先生が
言われた「間」を大事にしてき
ました。大きな声のセリフ、小
さな声のセリフ、そして「間」。
歌や演奏においても、セリフの
「間」のよつこーつこーつの音、旋
律を大事にしてみました。それ
らすべてに思いを込めてしまし
た。その成果は、学芸会を観て
くださったすべての皆様に伝わ
ったのではないのでしょうか。

たのしかったよ

一年一組 清水 雪帆

わたしは、がくげいかいで、わたとりのうごきを大きくつけました。おかあさんが、

「えがおだったね」

といってくれて、とてもうれしかったです。

きんちようしたよ

二年二組 杉浦 玲南

一つ前のげきにおねえちゃんが出ていて、じょうずだなと思ったので、まけないくらい楽しく歌って元気にできました。

家でくが、

「見ていて、元気になったよ。」といってくれたので、らい年もがんばりたいです。



やりきった学芸会

三年二組 矢嶋 清乃

「元気だねえ。」

わたしは、おばあちゃんのせりふを言うとき、こしを曲げて、間をとって、ゆっくりと声を出すことをがんばりました。

メイが見つかった場面では、サツキとメイと同じように、あんな心した気持ちになりました。

トトロの歌の後、やりきったと思い、ほっとしました。

勝負は一言田

四年二組 佐野 陽色

「し苦労様です。」

これがわたしの最初のせりふです。これを大きな声で言うのが一番の苦労でした。きんちようすると、大きな声が出なくなるからです。何度も練習をして、本番では大きな声で演技することができました。みんなで一丸となって全力でやり切った、大成功の学芸会になりました。

最高の学芸会

五年一組 二村 咲帆

わたしは学芸会できんちようしませんでした。なぜなら、朝も二時間目の休み時間も、昼休みもボシロと歌の練習をたくさんやって自信がついたからです。ピアノでスターの音楽をひくところは、タイミングがむずかしかったけれど、本番はばっちりひけました。自分では百点満点の学芸会だったと思います。

心は一つだ

六年二組 石川 世弥

「でねの。」

本番前に、みんなで思い切り声を出しました。この気持ちで始まった最後の学芸会。練習でうまくいかないときもあつたけれど、本番では、みんなで感動を与えることができました。一番良かったのは、六年生の心が一つになったことです。みんな、最高の思い出をありがとう。

おめでとう!

明るい選挙啓発ポスター
入選 5年 川澄 遼太
動物愛護ポスターコンクール
市長賞 4年 蜂須賀 蒼

岡崎市小中学校技術家庭科作品展
入選 6年 村田 誠治
横井 綾
安藤 美結
佐藤 竜貴
柴田 楓
神原 佑香
5年 牧野 未来
清水 朱音
渡辺 優空
藤井 香帆
和田 姫奈
杉浦 来実

岡崎市小中学校理科作品展
木村資生科学賞
入選
4年 蜂須賀 蒼
3年 川澄 杏奈
5年 畔柳 瑞希
6年 山崎 大雅

ダーウィンメダル受賞者
故木村資生博士の基金により、優れた研究に贈られました。

